

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○その他

欧州食品安全機関(EFSA)、リスクコミュニケーションに関するガイドラインを公表

公表日：2012/07/13 情報源：欧州食品安全機関 (EFSA)

<http://www.efsa.europa.eu/en/corporate/doc/riskcommguidelines.pdf>

欧州食品安全機関(EFSA)は、リスクコミュニケーションに関するガイドライン「食品が大騒動を起こすとき：リスクコミュニケーションのための実証済みレシピ」を公表した。

1. 序説と目的

本ガイドラインの目的は、欧州において食品安全に関連したリスクの評価とコミュニケーションを行う際に起こりうる様々な場面での適切なコミュニケーション手法に関する意思決定を支援する枠組を提示することである。具体的には、様々な国の公衆衛生機関において、リスクコミュニケーション手法の開発に活用できる共通の枠組を提示することである。

【参考】 コーデックス委員会では、リスクコミュニケーションを「リスクやリスク因子に関する情報や意見をリスク評価担当者、リスク管理担当者、消費者及びその他関係者の間で意見交換すること」と定義している。

2. 優れたリスクコミュニケーションのための基本原則

優れたリスクコミュニケーションのための基本原則は、「公開性」、「透明性」、「独立性」及び「即応性」の4点である。

3. コミュニケーションのレベル及び種類の選択を左右する諸要素

(1) コミュニケーションの観点からのリスクのレベル、(2) ハザードの特徴、(3) だれ/何が影響を受けるのか?、(4) ヒト/動物/植物/環境は、どのように影響を受けるのか?、(5) ハザード/リスクの暴露レベル、(6) リスクを管理する能力、(7) リスク認知に関連するその他の諸要因、(8) 必要とされるコミュニケーションのレベル

4. ツールと伝達経路

(1) 報道機関への対応

緊急を要する健康に関する告知及び世間の懸念や注目の高い問題を情報提供する場合、報道機関を利用することが効果的である。

(2) ウェブサイト

様々な読者とコミュニケーションできる。あらゆるレベルのリスクに関して適切である。定期的に編集・更新が必要な内容を公表する際には特に役立つ。

(3) 刊行物、(4) 電子刊行物、(5) 会合及び研究集会、(6) 意見募集、(7) 協力機関/利害関係団体のネットワーク、(8) ソーシャルネットワーク(Facebook や MySpace 等)、(9) ブログ、(10) 簡易ブログ(Twitter)

5. 経験から学んだこと

(1) 動物クローニングに関する EFSA のリスク評価、(2) 食品媒介性の人獣共通感染症に関する EFSA のテーマ別コミュニケーション手法、(3) 減塩キャンペーン、(4) 特定の人工着色料の小児に対する影響を調べたサウサンプトン大学の調査、(5) オランダにおける Q 熱：公開性と透明性、(6) スウェーデンにおける栄養補助食品に関する症例の履歴、(7) 事例研究：アイルランドのダイオキシンに係る緊急事態

アイルランド食品安全庁 (FSAI) は、小売業者及び製造者に対して、直ちに当該製品 (豚肉) の回収を指示した。消費者に対して、家庭内に当該製品があるかどうか確認し、あった場合は処分するか小売業者に返品するよう助言を行った。情報は、ウェブサイト及び相談電話を通じて入手可能とした。報道機関に対して、利害関係者と共に状況説明を毎日行った。

○関連情報（海外）

国際連合食糧農業機関（FAO）／世界保健機関（WHO）合同専門家会議報告書（1999年）

「The application of risk communication to food standards and safety matters」

本報告書には、効果的なリスクコミュニケーションを行うための指針、リスクコミュニケーションにおいて生じる障害及びこれを克服するための手段等について記載されている。

<http://www.fao.org/docrep/005/x1271e/X1271E00.HTM>

欧州食品安全機関（EFSA）：設立10周年記念小冊子を公表

本冊子には、10年間にわたる科学的なリスク評価及びリスクコミュニケーションに関する活動について記載されている。

<http://www.efsa.europa.eu/en/corporate/doc/efsa10thanniversary.pdf>

米国食品医薬品庁（FDA）：「リスクコミュニケーションに関するFDAの戦略計画」を発表

<http://www.fda.gov/downloads/AboutFDA/ReportsManualsForms/Reports/UCM183683.pdf>

○関連情報（国内）

食品安全委員会：食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて（平成18年11月）

http://www.fsc.go.jp/senmon/risk/riskcom_kaizen.pdf

食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会：

意見交換会の実施と評価に関するガイドライン（平成20年8月）

http://www.fsc.go.jp/senmon/risk/riskcom_guideline.pdf

食品安全委員会における情報提供の改善に向けた当面の取組方向（平成21年9月）

http://www.fsc.go.jp/senmon/risk/riskcom_kaizen_2109.pdf

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください。